

平成24年度 県土整備部環境配慮事例報告書

保全対象種

事業主管課	河川局河川整備課
実施機関	東部県土整備局(徳島)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	徳島市	
事業の規模・状況	7.5 km	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

当該流域では、近年にも度々、浸水被害を受けていることから、未改修区間の河川改修を進めるとともに、道路事業と連携を図りながら、早期の無堤地区解消に向け、事業を実施。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無, モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○		○					○	○

【特に配慮した環境要素と実施事項】

河川改修工事の事前調査において、ユキワリイチゲ(徳島県版レッドデータブック:絶滅危惧Ⅱ類)の生育情報が得られた。環境アドバイザーの指導のもと、工事の影響が無く、既にユキワリイチゲの生育が確認されている場所への移植を行った。移植箇所は、できるだけ移植前と同等の環境が選定されるよう十分配慮した。また、リスク分散のため、移植する株の間隔を空けて移植を行った。さらに、移植時期は地上に葉が出る早春に株を確認しながら確実に行った。

【目標に対する達成状況】

工事前にユキワリイチゲを同等の環境に移植したため、工事による直接的な影響を回避できた。

【実施事項に対する評価】

実施者	今後、移植後のユキワリイチゲの生育状況についてモニタリング調査を継続して行い、必要に応じて対応措置を検討する。
主管課	移植後のモニタリング調査についても、時期、方法等について環境アドバイザーの指導を仰ぎ、確実に実施するよう努めたい。



ユキワリイチゲ(キンポウゲ科)

山麓の林のふちや竹林の中などに生育する多年草。かつては、かなり生育していたが、現在では森林伐採や乱獲により減少している。

①移植前の状況



②移植作業(周囲の土ごとコンテナに移す)の状況



③移植作業(移植地を選定し、適度の大きさの植栽穴を掘削)の状況



④移植完了後の状況(対象種を植栽穴に移植し、目印を設置)

